

# せきじりの

富津市立環小学校

学校便り No.1

平成31年4月11日

mail tamaki@futtu.ed.jp

URL <http://www.futtu.jp/syo-tamaki/>

## 新学期 スタート

### 輝け 環の子！ 気持ちを新たに本年度のスタートです。

目にするすべてのものが光輝く春、さわやかな挨拶が響く中、新年度がスタートしました。8日の始業式では、2年生から6年生の代表が新学期の目標を発表し、決意をあらわしました。



9日には、入学式が行われ、6名の新入生が入学しました。新入生は、やや緊張した様子ではありましたが、人の話を真剣に聞くことができました。学校長式辞の中の、これから毎日の学校生活を楽しく元気に過ごすためにがんばってほしいこと3つを心がけてほしいと思います。

- ①お友だちと仲良くし、命を大切にしましょう。
- ②元気なあいさつをしましょう。
- ③楽しく勉強しましょう。の3点です。

全校児童70名（1年生6名、2年生10名、3年生15名、4年生8名、5年生16名、6年生15名）が環小学校でともに学びます。峰上地域の自然や文化・伝統を生かし、家庭や地域社会との連携を深めながら、「よく学び・やさしく・がんばる」児童の育成を目指します。今、子どもたちは、入学・進級し、気持ちを新たにそれぞれが目標や夢に向かい、学習活動・行事などにやる気いっぱいです。目標を達成していくためには、一人の力では達成できないこともあります。お互いが支え合いながら、みんなで歩んでいければと思います。安全を第一に、

子どもたち一人一人の良さや可能性を最大限に伸ばしていけるよう、職員一同、力を合わせ、全力で取り組んで参ります。学校と保護者、地域の連携と理解、そして信頼関係が不可欠です。今年度も、皆様方の深い理解とご協力をお願いいたします。

- ◆校長 鳩飼 直
- ◆教頭 安田 直美
- ◆教務主任 辻 俊明
- ◆1年担任 豊田 綾音
- ◆2年担任 堀川 千尋（富津市立青堀小学校より）
- ◆3年担任 石井千香子
- ◆4年担任 徳永 祐輝（大学卒）
- ◆5年担任 梅田 大樹
- ◆6年担任 今井 美和子
- ◆ゆりのき1組担任 山科 幸雄（木更津市立富岡小学校より）
- ◆ゆりのき2組担任 栗田明日香
- ◆養護教諭 要藤 美輝（富津市立天神山小学校より）
- ◆主事 前田 汐里
- ◆用務員 荒井 恵

### 職員紹介

よろしくお願ひします！

学校だよりは、学校のホームページにもアップいたします。そちらもご覧ください。

URL <http://www.futtu.jp/syo-tamaki/>

## 小さな目標を達成し、大きな目標につなげる！

【始業式：学校長の話】

これから「よく学ぶ子」、「やさしい子」、「がんばる子」についての具体的な目標を決めると思いますが、その際に考えてほしいことをお話したいと思います。

**サトーカメラ**というカメラ販売店をいくつも経営している**佐藤さん**という人がいます。実は、佐藤さんは、サトーカメラを始めたとき、なかなか商売がうまくいきませんでした。もう見込みがないから、お店をやめてしまおうと思ったこともあったそうです。ある日、近くにある電気製品を売っている大きな店に行きました。そのお店には小さなカメラ屋さんがあったので、佐藤さんはそのカメラ屋さんをのぞいてみたそうです。そうしたら、佐藤さんのお店よりもずっと小さなお店なのに、ものすごくたくさんの方がいて、繁盛していたのだそうです。

そこで佐藤さんは考えました。自分の店は大きいのにお客さんはあまり来ない。この店は小さいのにお客さんがたくさん来る。その違いはどこにあるのだろう。いろいろ考えているうちに、佐藤さんはあることに気づきました。それは、佐藤さんのお店はカメラを専門に売るお店として始まったのですが、カメラがあまり売れなかったため、カメラの他にもテレビとコンピュータとかいろいろなものを売ったのです。カメラ専門店といいながら、カメラ以外のものを売っていたのですね。

それに気づいた佐藤さんは、カメラだけを売るようにしました。しかも、カメラはカメラでも、そのころ人気のあったビデオカメラを一生懸命売ろうとしたそうです。さらに、ビデオカメラの中でもある会社のビデオカメラだけを中心に売ったそうです。

そうしたら、そのビデオカメラの売り上げだけはあっという間に地域でナンバーワンになったのだそうです。佐藤さんは、そのビデオカメラの売り上げが地域でナンバーワンになったことを大きく宣伝しました。すると、ますますたくさんのお客さんがやってきて、いつの間にか商売が大繁盛するようになったのだそうです。

みなさんはこのお話を聞いてどんなことを考えますか？私はこのお話から、2つのことを考えました。1つは、**何かをやりとげようと思ったら、あれもこれも、いろいろやろうとしないで、何か1つに決めるということ**です。

佐藤さんは、カメラが好きでカメラを売る店を始めたわけですが、なかなか売れなかったため、途中からカメラ以外のいろいろなものを売るようになってしまいました。それがまたお客さんが来なくなる原因でもあったのだと思います。

何でも、それを始めたときの気持ちを思いだして、そのときの気持ちでやり直すことを「**初心に返る**」と言いますが、佐藤さんも初心に戻って、カメラ1つに決めて商売をやり直そうとしたのです。それが成功の1つだと思っています。

考えたことの2つ目は、**何か1つに決めたら、そこからさらに絞って絞って小さなことを目標にする**ということでした。

初心に戻ってカメラを売ろうと考えた佐藤さんは、カメラはカメラでもビデオカメラに絞りました。さらに、ビデオカメラはビデオカメラでも、ある会社のビデオカメラに絞りました。こうして小さいことを目標にしたことで、目標を達成することができたのです。

これから目標を立てる皆さんにとって、佐藤さんの目標の立て方がとても参考になるのではないかと思います。

たとえば、「テストで100点をとる」という目標を立てたとしましょう。テストにもいろいろな教科のテストがありますね。全部のテストで100点をとるという目標もいいのですが、佐藤さんのように何か1つに決めた方が、目標は達成しやすくなります。ですから、「テストで100点をとる」という目標は、たとえば「国語のテストで100点をとる」とか「算数のテストで100点をとる」とかというように、教科を何か1つに決めるのもよい方法だと思います。また、そこからさらに小さく絞って目標を立ててもいいでしょう。たとえば「算数のかけ算のテストで100点をとる」とか「漢字50題テストで100点をとる」とかいうようにです。

これは、学習についての目標ですが、生活についての目標を立てるときにも同じことが言えます。たとえば、「元気なあいさつをする」という目標を立てたとしましょう。いつでもどこでもいろいろなあいさつを元気よくするというのはとてもよい目標です。でも何か1つに決めた方が、やりやすくなりますね。そこで、「元気なあいさつをする」という目標は、「おはようございますのあいさつを学校で一番元気にする」「先生やお客様へのあいさつをがんばる」などとしてもよいでしょう。

ところで、さきほどの話の佐藤さんは、小さく小さく目標を絞って地域のナンバーワンになりました。そして、そのナンバーワンになったことがもっとたくさんのお客さんを集めてくれました。つまり、**小さな目標を達成したことが、さらに大きな目標を達成することにつながった**というわけです。

これと同じように、皆さんが小さな目標を達成すると、そのことが自信になって、少し大きな目標を達成することにつながっていきます。少し大きな目標を達成すると、それがまた自信になってさらに大きな目標を達成することにつながっていきます。ですから、小さな目標を達成することが大事です。卒業式でも話をしましたが、野球のイチロー選手は「**小さなことを積み重ねるのが、とんでもないところに行くただひとつの道**」と言っています。

はじめから大きな目標を決めるのもいいのですが、大きな目標を達成するには大きな努力も必要です。もしかしたら達成できないままで終わってしまうかもしれません。

それよりも、はじめは小さな目標を決めてそれを達成し、目標を少しずつ大きくしていくとよいでしょう。

1学期が始まる今、その小さな目標を立ててスタートするのに、とてもよい時期です。ぜひ、よいスタートを切ってください。

【参考文献】佐藤勝人『日本一のチラシはこうしてつくれ！』（文芸社）